

甲子中日 校章

今年は何ついな日か、そのせいも暑くも
 うしどけがきを十一通りいへ
 年表決をかいでも甲子の日かきり手紙はか
 ない 甲子の日かきり手紙はかきり手紙はか
 甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 おこしな、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 文章がある、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 りる、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 気候と手紙、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか

また、甲子の日の若竹会(卒業生会)から
 この甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 の校章は、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 甲子の日はかくか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 府立五高、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 校阿房甲子校、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 甲子の日はかくか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 甲子の日はかくか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 さか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか
 甲子の日はかくか、甲子の日はかくか、甲子の日はかくか

い 探訪中だと、か、転校生だと知らな
校歌もそうだ

農場で今の校舎「池内先生がこゝにた

えこくねた

老のこのさくら 谷のゆり 人こそ知ろ 概ね

咲きにおう 清き心王心にて 乙女の道は

いそしまん

何と転校生と思ろ

さつ子いもがう子つていふほりだうけの

農場で一生懸命うたうた

戦争を始末の殺伐としら甲で美しし羽た

中五等生女学校入る方一歩の目々たうた

加予も予く終戦いどいそ球がけいそうた

昔竹の不知うちは高枝 ~~新~~ 立百周年の喜会う

あ知うせだ

女子校の本所十九回(五下無下)の予選は二百円

奇跡と9二とがのうていた 之ういふ感心する

最高裁長官(大岩通人)高木二十三回うたうた

のうたうた

知らないうちにくそなくふんじそうた



東京府立第五高等女学校

同窓生講演会のお知らせが来た
人工知能の過激な現在未来は
丸山文彦氏

六月二十六日 行かぬぞい (六月二十六日)

こういふところでは勉強したい

今日もあつた 馬ついで中森行吉と
五和命

よしん

森竹いいな